

## 第18回全国スカウトフォーラム

私たち、第18回全国スカウトフォーラム参加者は国立オリンピック記念青少年総合センターでの2泊3日にわたる議論を通し、「Creating a Better World」のテーマのもと、全国のベンチャースカウトが具体的なアクションを起こすべく、以下のことを採択し提言します。

### 採択文

#### (1) Global Warming (地球温暖化) をはじめとする Global Environment (地球環境)

地域の人々に人間と自然が共生することに興味をもってもらおう！！

##### アクションプラン

一前回の第17回全国スカウトフォーラム実施後は、「エコフェスタ」という言葉が独り歩きする状態で、採択文に具体的な内容がまったく記されていなかつたことを鑑み、

- ・第19回全国スカウトフォーラムまでに、各県連盟ごとのベンチャースカウト主催で「啓発イベント」を開始し、地域の人々のエコ意識を高めていく。「啓発イベント」では、エコキャップの活動や、スカウトのエコ活動の宣伝と自然との共生の宣伝をする。
- ・「啓発イベント」を通して高まった意識を「体験型イベント」を実施することにより、さらに向上させる。「体験型イベント」では、古紙再生、EM菌石けん・リサイクル石けん作り地産地消の自然共生を体験できるイベントを行い、一般の人に楽しみながらエコを知ってもらう。イベントの形は、県連盟の状況により、イベントやウォークラリー等のどの形式で行ってもよいこととする。



## (2) The 23ed World Scout Jamboree (第 23 回世界スカウトジャンボリー)

海外のスカウトとうまくコミュニケーションをとるために、スカウトの「和」を広げよう。

国内スカウトの和（まとまり）を強め、世界に日本の和（文化）を知ってもらい、世界の和（平和）に関心を持ちスカウトの和（繋がり）を築こう。

### **アクションプラン**

- ・全県連盟がWTW（ウェルカム・ザ・ワールド・プロジェクト）に参加していることを前提にして、各県連盟のベンチャースカウトがWTWの相手国と 2015 年の第 23 回世界スカウトジャンボリーまでにインターネットや手紙などの通信手段を通じて、各都道府県や日本の文化を紹介し、相手国の文化を紹介してもらう。
- ・ベンチャースカウトがリーダーシップをとり全県連盟で協力して 2015 年の第 23 回世界スカウトジャンボリーで海外スカウトとの交流の手助けとなり、その後のスカウトの交流を促進させるために「和ッペン」シリーズを製作する。
- ・ベンチャースカウトが中心となり、各県連盟での案をまとめ、統一化し、共有するための「プロジェクトチーム」をつくる。
- ・インターネットや SNS （ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用して、海外に「和ッペン」シリーズの宣伝をする。

## (3) Leadership (リーダーシップ)

自分の理想とするリーダー像を目指す!!

### **アクションプラン**

- ・全てのスカウトに頼られるベンチャースカウトになるために
- ・ベンチャースカウトがグリンバーに 2011 年 8 月末までに、身近な活動単位である各地区ごとに「グリンバー訓練キャンプ」を企画・計画し、ベンチャーへの講習会を開き、実践し、評価反省を行う。 初めてやる人に対しての講習会を開く。
- ・ベンチャースカウトが自分たちの社会的技能、野外活動技能を高めるために「グリンバー訓練キャンプ」を継続して実施する。

#### (4) Scouting and Technology (スカウティングとテクノロジー)

Technology for tying friends. 「友達をつなぐテクノロジー」を日本のボーイスカウト活動の独自色とし、地域間のスカウトの交流を促し活動を活発化させる。

##### **アクションプラン**

- 一 現状は、各団、各県連ごとにホームページやブログの有無に大きなばらつきが存在している。県の活動などで知り合ってもその後、交流が続かない事が多いため、地域間の活動の幅に大きなばらつきがあり
- 一 他地域の意見を聞くことにより、より良い活動につなげていくため、
  - ・アフターフォーラム後の隊単位での会議、活動内容をインターネットで発信し、他団のスカウトと意見交換をする。
- 一 地域間スカウトの交流のために所属団の活動を知ってもらい、広報活動の活発化により加盟員の増加や地域、世界基準のボーイスカウトになる
  - ・ベンチャー隊が中心に団でホームページ又はブログを作り更新する。
  - ・通信機器を利用し、他地域の個人間での交流を促進する。
- 一 揭示板という比較的に手軽に話す機会を作ることで、地域ごとの活動の格差を是正し、他団、他県連盟のスカウトとの交流、活動を促進するため、
  - ・2011年12月から2012年12月までの期間を目安に、各都道府県でホームページや掲示板を作り、積極的に更新する。

提言文

(1) Global Warming (地球温暖化) をはじめとする Global Environment (地球環境)

・各県連盟に対して「啓発イベント」と「体験型イベント」の実施に必要な費用や物品等の支援を依頼する。

・日本連盟ホームページ上での「啓発イベント」と「体験型イベント」の宣伝を依頼する。

一スカウト主催の活動であるため、スカウト自身が環境への意識を高めるとともに、正しい知識が必要とされる。しかし、既存の環境衛生章では地球環境を根本的に理解する項目がない現状を鑑み、

・2012年までにスカウトのエコ意識向上のための技能章「環境保護章」を新設することを提言する。

(2) The 23ed World Scout Jamboree (第23回世界スカウトジャンボリー)

・各県連盟はベンチャースカウトの「和ッペン」作りを派遣隊交換グッズのうちの1つとして取り入れ、その作成にあたっての物品的、金銭的な補助をすることを依頼する。

・各県連盟ごとで成人指導者を含めた「プロジェクトチーム」を補助する機関を設置することを依頼する。

・日本連盟にWTWのような海外スカウトと交流する機会（「和ッペン」シリーズを宣伝する機会）をさらに設けることを提言する。

(3) Leadership (リーダーシップ)

・各地区ごとに「グリンバー訓練キャンプ」を行うための金銭的・物的援助、また、運営スタッフとしての協力などを各地区の指導者に依頼する。

(4) Scouting and Technology (スカウティングとテクノロジー)

・日本連盟のホームページリンク集の作成、編集を行うことを提案する。対象は県、団ホームページ、ブログ（ブログは個人のも含む。）とする。

一現状として、目的の地域ごとにボーイスカウトのWebサイトに到達できない、または検索に時間がかかる事が多い。また、JOTI（ジャンボリー・オン・ザ・インターネット）は公用語が英語であり、英語力が乏しいスカウトには敷居が高いことを考慮し、

・毎年、チャットスペースを作り、JOTIを手本に、「日本インターネットジャンボリー（仮称）」を開催することを提言する。

第18回全国スカウトフォーラム参加者一同  
平成22年12月27日

議長 小山 敏

副議長 星川 駿

書記 三宅 晶子